

# ポリマーセメント系鉄筋防錆材 **α防錆ペースト**

東・中・西高速道路(株) 構造物施工管理要領「鉄筋防錆材」品質規格適合品  
西日本旅客鉄道(株)「コンクリート構造物補修の手引き」認定材料

## α防錆ペーストとは...

α防錆ペーストは中性化や塩害によって腐食した鉄筋の防錆材です。再乳化型粉末樹脂をブレックスした「α防錆ペーストパウダー」と亜硝酸リチウム水溶液「リフレα」と所定量の水を混練することで、高い防錆性を有するポリマーセメント系防錆材が得られます。  
ハケまたはリシガンを用いて鉄筋表面および下地コンクリートはつり面に塗布して下さい。

## α防錆ペーストの特長

- 鉄筋表面の不動態被膜の形成  
リフレαの亜硝酸イオンおよびポリマーセメントの高アルカリ性により、鉄筋表面に不動態被膜を形成し、高い防錆性を付与します。
- 遮蔽被膜の形成  
高P/Cポリマーセメント被膜により、鉄筋腐食の原因となる有害な腐食因子を遮断します。
- 高い鉄筋との付着性  
高P/Cポリマーセメントのため、コンクリートや鉄筋に強力に付着し一体化します。
- コンクリート下地に亜硝酸リチウム水溶液「リフレα」(別売り)を塗布、含浸させることでより高い防錆性が得られます。



荷姿：19.1kg 缶  
α防錆ペーストパウダー(セメント・ケイ砂・再乳化型粉末樹脂)・・・4.5kg袋×4袋  
リフレα(亜硝酸リチウム25%水溶液)・・・・・・1.1kgポリ瓶×1瓶

### 標準配合

α防錆ペースト(1缶)		練り上がり量 22.5kg (密度1.85)	標準塗布量 1.85kg/m <sup>2</sup> (1mm厚み)	塗布可能面積 の目安 ※ 標準工法 約17m <sup>2</sup> 塩害工法 約6m <sup>2</sup>
α防錆ペーストパウダー	18kg(4袋)			
リフレα	1.1kg(1瓶)			
清水	3.2~3.6kg			

※計算根拠(ロスは含んでいません)

・はつり深さを50mmに設定

・過去の経験値より、はつり面1m<sup>2</sup>に介在する鉄筋展開面積を0.7m<sup>2</sup>として計算

標準工法 練り上がり量 1m<sup>2</sup>当たり塗布量  
22.5kg ÷ (0.7m<sup>2</sup> × 1.85kg) = 17.4m<sup>2</sup>

塩害工法 練り上がり量 1m<sup>2</sup>当たり塗布量  
22.5kg ÷ ((1.2m<sup>2</sup> + 0.7m<sup>2</sup>) × 1.85kg) = 6.4m<sup>2</sup>

### α防錆ペースト試験結果の一例

項目	単位	材齢・条件等	測定例	備考
簡易フロー値	mm	—	114	JASS15M-103フロー試験準拠
単位容積質量	—	—	1.85	
曲げ強度	N/mm <sup>2</sup>	1日	1.8	JIS A 1171準拠 20℃・90%RH養生
		7日	5.5	
		28日	7.8	
圧縮強度	N/mm <sup>2</sup>	1日	3.7	JIS A 1171準拠 20℃・90%RH養生
		7日	13.8	
		28日	19.5	
付着強度	N/mm <sup>2</sup>	【コンクリート板】 7日	1.8	建研式付着試験 ※断面修復材との付着強度  [コンクリート板 + α防錆ペースト + 弊社NEWリフレモルセット] 試験体を使用
		28日	3.4	
		【鉄板】 7日	1.1	
		28日	1.3	
*1 鉄筋防錆性	測定例(1)	防錆率, %	基材部 61 補修部 84	打継ぎ部リフレα 塗布なし 塩化物イオン量=0kg/m <sup>3</sup>
		測定例(2)	防錆率, %	基材部 79 補修部 100

注) 上記は、社内実験室での測定値であり、品質保証値ではありません。

\*1: 日本建築学会/鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針(案)付1.3鉄筋コンクリート補修用防せい材の品質試験(案)に準拠。  
基材部および補修部ともS/C=2、W/C=65%のモルタルを使用しています。

# 施工方法

## 下地清掃

コンクリートはつり面の脆弱部および鉄筋表面の錆を、ケレン清掃等により取り除いて下さい。  
 コンクリート面を高圧水洗で洗浄して下さい。水洗ができない場合は、ブロアーにより下地の埃を十分に除去し、水湿した後、指触乾燥状態まで養生して下さい。

## α防錆ペーストの混練

水・リフレαを練り容器に投入後、攪拌機で攪拌しながらα防錆ペーストパウダーを徐々に投入し、均一なスラリーとなるよう2分以上混練して下さい。

## α防錆ペーストの塗布

### 《標準工法》

- ①鉄筋が乾いていることを確認後、刷毛で1mm厚みを目安に塗布して下さい。
- ②α防錆ペーストが指触乾燥後、コンクリート下地に※断面修復用プライマーを塗布して下さい。  
 ※推奨：リフレトリート(当社断面修復専用プライマー)

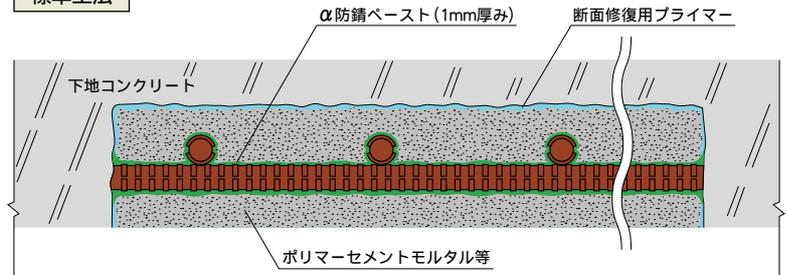
### 《塩害対策工法》

下地が乾いていることを確認後、亜硝酸リチウム水溶液「リフレα」(別売り)を下地に塗布して下さい(塗布量=0.2kg/m<sup>2</sup>)。塗布後、下地及び鉄筋の指触乾燥を確認後、α防錆ペーストを刷毛、リシガン等を用い、下地及び鉄筋に1mm厚みを目安に塗布して下さい。

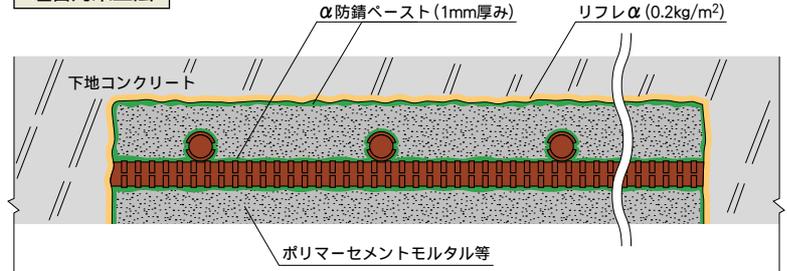
## 養生・断面修復工

- 施工後は、降雨、強風、直射日光、凍結を避けて下さい。
- α防錆ペースト塗布後、指触硬化を確認して断面修復を行って下さい。
- 塩害対策工法で、速乾性(速硬化)断面修復材を用いる場合は、16時間以上の養生を行って下さい。
- α防錆ペースト塗布後、2日以上時間が空いた場合、表面にリフレトリートを塗布することによりタックが出て断面修復材の施工性が向上します。

標準工法



塩害対策工法



ケレン後の鉄筋



α防錆ペーストの混練



α防錆ペーストの塗布(塩害対策工法)



α防錆ペーストの塗布完了(塩害対策工法)



## 安全上の取扱い注意事項

- ・本製品はアルカリ性です。作業をする際には、目、皮膚等に直接触れないように、保護眼鏡、保護マスク、保護手袋等の保護具を着用して下さい。
- ・施工後は、手、顔等をよく洗って下さい。
- ・応急処置  
 目に入った場合は、ただちに清浄な水で15分以上洗浄し、眼科医の診察を受けて下さい。
- ・保管上の注意  
 0℃以下、40℃以上にならないように保管して下さい。
- ・廃棄上の注意  
 α防錆ペースト、リフレα、水を混ぜてモルタル状にし、硬化後に産廃物として処分して下さい。

使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。  
 本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

## 住友大阪セメント株式会社 建材事業部

- 東京 〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
- 大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
- 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目(札幌HSビル10F)
- 東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル(SS30)3F)
- 北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
- 名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
- 四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
- 広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
- 福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

- 電話 03(5211)4752 Fax 03(3221)5624
- 電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
- 電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
- 電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
- 電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
- 電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
- 電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
- 電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
- 電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は